広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	遺伝子解析装置 Film Array 導入による髄膜炎・脳炎疑いに対するアシクロビルの使用状況と医療経済への影響
研究責任者 （所属科名）	植竹　宣江 （広島市立北部医療センター安佐市民病院　薬剤部）
本研究の目的・意義	髄膜炎・脳炎が疑われた際には、原因微生物が同定される前に想定される複数の原因微生物に対して治療が開始されますが、細菌培養や外部委託の PCR 法では結果が判明するまでに数日かかり、その間複数の抗微生物薬が併用されます。 2024 年 12 月に当院に遺伝子解析装置 FilmArray®が導入され、検査当日に結果が得られるようになったため、FilmArray®の導入で不要な抗微生物薬の投与期間が短縮したか調査を行います。
調査方法・研究期間	・調査方法：電子カルテを用い後方視的に調査を行います。 ・調査期間：2023 年 11 月から 2025 年 12 月 ・研究期間：倫理委員会承認後から 2026 年 12 月までを予定しています。
該当資料・データ	・対象となる患者さま：2023 年 11 月～2025 年 12 月の間に、当院に入院し、髄膜炎あるいは脳炎（疑いを含む）に対して治療をされた方 ・利用する情報：投与された抗微生物薬の種類、投与期間、検査結果等
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名等の患者さまを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果を学会等で発表する際にも、患者さま個人を特定される情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：082-815-5211 （内線）3000 （平日 8:30～17:15） 代表者：薬剤部　　植竹　宣江
備考	